

武豊町議会議長 石原 壽朗 殿

武豊町議会議員 鳥居 美和

一般質問の通告について

令和4年第4回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質問事項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
1. 祖父母世代への孫育て支援について	<p>【趣旨説明】</p> <p>少子化や人口減少は本町のみならず日本が直面する最重要課題です。コロナ禍により2021年の出生数が過去最少を記録し、想定より7年早く少子化が進んでいます。「安心して子供を産み育てられる社会」の構築が急務です。</p> <p>現代社会は、核家族化の進展による3世代同居家族の減少や、夫婦共働き世帯の増加など、子育ての状況は大きく変化し不安を抱えながら子育てをしている家庭が増えています。この子育て世代の不安を解消するカギとなるのが「祖父母世代」と言われています。</p> <p>親だけで子育てを背負うのではなく、祖父母や地域の人たちも一緒になって子供を見守り、成長を喜び、時には、子育てに疲れているパパ、ママの気持ちに寄り添うことができれば、子供と子育て世代に笑顔が増えると思います。また、祖父母世代にとっても、子育て世代と関わりを持つことで、地域と繋がり絆が生まれるメリットがあります。祖父母世代の力が、地域での子育て支援に求められていると思います。</p> <p>しかし、子育てを取り巻く育児環境や育児技術は大きく変わってきているため、祖父母と娘、息子夫婦の子育ての常識に大きなギャップが生まれています。</p> <p>例えば、昔は抱っこをすぐにしてしまうと「抱き癖が付く」と言われ良くないとされていました。しかし、今では「人への信頼感を育み、自己肯定感が高まる」など、心の成長に大切なことだとされ、抱き癖は気にしなくて良いとなっています。</p> <p>また、離乳食の与え方も、昔は大人が噛み砕いた食べ物を、大人が使った箸やスプーンで子供に与えていましたが、今は、大人の口から虫歯菌やピロリ菌がうつることから箸やスプーンは共有しないことになっています。</p> <p>この様に、昔と今の子育ての方法に違いがあることを各世代が知り、理解し合って育児をしていくことができれば、明るく楽しい家庭、家族が築かれていくと思います。</p> <p>そこで、本町における祖父母世代への孫育て支援について3点質問いたします。</p>
	<p>【質問事項】</p> <p>①本町には3世代同居家族は何世帯ありますか。</p> <p>②本町では祖父母世代を対象として孫と交流している事業はありますか。</p> <p>③祖父母世代の方から孫育てについて相談を受けたことはありますか。</p> <p>④本町での祖父母世代への孫育てのサポート事業はどのように行っていますか。</p>

2. ドライブレコーダーの有効活用について

【趣旨説明】

冬の交通安全週間が12月1日より始まりました。交通事故はいつ起ってもいけません楽しい年越しを迎えたいと思います。

自動車運転中の映像と音声を記録するドライブレコーダーが急速に普及しています。自家用車への搭載は4割を超え、出荷台数は昨年度500万台に達しています。ドライブレコーダーを装着することで、自らが安全運転を心がけると共に事故になった時の証拠としても活用でき、また最近注目されている「あおり運転」に対する自己防衛という側面にも効果があるとされています。

平成31年2月14日に半田警察署と本町は「ドライブレコーダーに記録された画像の提供に関する協定」を管内の1市4町と共に締結しました。この協定は、犯罪や交通事故などの事案を解明するために半田警察署から法定等の規定に基づく依頼があった場合、本町が管理する車両に搭載されたドライブレコーダーに記録された画像の提供などに協力するというものです。

この協定により、本町の公用車にはドライブレコーダーで録画中であることを記載されたステッカーが貼られ「動く防犯カメラ」として事故・事件に対する抑止力となっていることと思います。

東浦町ではあおり運転をはじめとする迷惑行為の抑止を始め、運転手の「交通安全意識の向上」を図ることや、動く防犯カメラとして広く存在をPRすることによる「犯罪発生への抑止」などを目的に、町のマスコットキャラクターおだいちゃんのデザインされた「ドライブレコーダーの搭載をPRするステッカー」を配付しています。当初1000枚限定だったところ好評のため全てなくなり、また新たに1000枚増刷されたとのことです。

ステッカーを受け取る時に受領書に必要事項を記入し、今後、犯罪や交通事故などを目撃したり半田警察署が立て看板などによる交通事故などの目撃情報の収集をしている場合、可能な限り協力をすることになります。

また半田市では、令和2年10月に「半田市ドラレコ隊」が結成されました。活動内容は、半田市から交付されたステッカーをドライブレコーダー搭載車に貼り付け、「動く防犯カメラ」として役割を担うことです。そして、事故発生時には必要に応じて半田警察署へ録画データの提供を行うこととなります。11月10日現在のドラレコ隊の登録者は109人、車は276台です。

本町においてもドライブレコーダーの普及は進んでいると思います。住民からの画像提供を受けることで、安全で安心のまちづくりは大きく広がると考え、本町におけるドライブレコーダーの有効活用について3点質問させていただきます。

【質問事項】

- ① 現在、住民が参加して実施している交通安全活動や防犯活動には何がありますか。
- ② 東浦町や半田市のようなドライブレコーダーを活用した、住民参加型の交通安全活動や、防犯活動について、どう思われますか。
- ③ 「動く防犯カメラ」として、事故・事件解決への有効手段となるドライブレコーダーを活用した取り組みを実施するお考えはありますか。